

(株)フクナガエンジニアリングがお送りする環境ビジネス情報誌

FECO News

2007.SPRING

vol.21 

株式会社フクナガエンジニアリング
<http://www.ecosoft.co.jp>

安心な食生活って どうすればいい？

明日香村 (奈良県・高市郡)

高松塚古墳等の遺産が点在する歴史豊かな明日香村では、農地を維持してこの景観を守るため、農作業をたくさんの人の手で分かちあう「あすかオーナー制度」がつけられています。“日本人の心のふるさと”である農村の風景を守るのも、大切なエコ活動ですね。



エコロジーを、エコビジネスを考える

ECOの目

記念すべきリニューアル第1号の特集は、私たちのカラダに摂り入れる食物、特に農作物についてフィーチャーしました。有機栽培について、農業が抱える環境汚染、消費者意識などのさまざまな問題を通して、農業の現場がECOやECOビジネスとどうリンクしているかを探ります。

今号のテーマ

農業や農作物とECOとのつながりって？



しょうか。今回は、こだわり野菜の仕入れ・販売代行を行う株式会社スロウの緒方さんに話をうかがいました。

“有機野菜だから安全”は、大間違い。食への誤解が消費者に蔓延している!?

マクロビオテックやスローフードなど、近年、健康志向な食事が流行しています。その一方で「〇〇だからヘルシー」などと安易に受け止めてしまい、さまざまな誤解を持ったまま食物を消費している人が多いのも事実のようです。

例えば、有機野菜。“有機野菜は絶対安全と言い難い”という事実はご存知？ 有機野菜とは、国の認めた機関が有機JASと認定した作物のこと。植付け前2年以上（多年生作物は最初の収穫前の3年以上）の間、化学肥料・農薬を“原則”使用しないことを基本に、堆肥などで土づくりを行った田畑で生産された農作物を指します。実はこの“原則”という言葉がくせ

者で、「やむを得ない場合に限り、国際基準に準拠した30種の農薬の使用は認められる」ともあるのです。そのため、有機とはいえ数十種の農薬を使っている可能性もあるのです。

さらに、作物の育った環境を知るために堆肥の成分表示が義務化されたにも関わらず、徹底されていない現状、種子の品種改良や遺伝子組み換えによる人体への影響を懸念する声など、食生活にはさまざまな問題が複雑に絡み合っているのです。そのため、何をもって“安全”かを示すことは容易ではありません。

このような難しい現状にあって、私たちが“安心”と思える食生活を送るにはどうすればいいので

INTERVIEW →【株式会社 スロウ】



株式会社スロウ
代表取締役
緒方 勇一郎さん

こだわりを持つ消費者の目を育てることが環境の負荷を減らすことにつながるんです

消費者が安心できる食生活って？ そのヒントをスロウの事業に見る!

私たちが手にする食物は“安全”だと簡単に言い切れません。そんな中、こだわり野菜を仕入れ・販売を代行する株式会社スロウさん。その事業形態から、私たちの食生活を安全に近づけるためのヒントを感じとることができます。

緒方さんが今のビジネスを始めたのは、前職での営業を通して農業に興味を抱いたことと、社会貢献をしたいという強い想いから。「いい野菜を作っている人がいるのに、買う人が少ない。そんな想いから代行販売に踏み切りました。取引先へは必ず自分の足で訪れ、畑や土の状態を見て、そこで育った作物を自ら食べます。自分が自信をもった品でなければ扱いません」この言葉の裏には、農家の方々と築いてきた絶対的な信頼関係がうかがえます。

「安心できる食生活を送るためには、消費者の目を肥やし、育てることが大切です」と、緒方さんは語ります。野菜が育つ環境への知識やこだわりを持てば、自然栽培などの野菜を扱う

市場を活性化することができます。そうすれば、難しく手間のかかる無農薬などの野菜づくりに取り組む農家を増やし、またより多くの消費者が安心できる野菜を手に入れられるようになるでしょう。消費者を育て理想的な輪を広げていくことが、私たちの食生活を守ることや環境保護につながるのです。

今後の展望としては「今堆肥のもとである家畜の排泄物が環境汚染の大きな要因になっているのですが、その問題を抱える畜産側と農家とをつなげる接点がありません。この現状を視野に入れ、①自然循環型農業のサポートにもより力を注ぎたいです。環境に優しいうえ、新たなビジネスチャンスも生まれますからね。また、生産者をコミュニティが支える②CSAのようなネットワークも、日本で確立させたいです」と、目標を語ってくれました。スロウ発で広がる、エコビジネス。今後が楽しみです。

【株式会社スロウ】

市場で入手し難い無農薬・低農薬などのこだわり野菜を仕入れ、飲食店や八百屋、そして消費者への販売も行う日本では珍しいアグリビジネス企業。顧客が“安心”と納得できる野菜を、各消費者のニーズに応じて販売してくれる。横浜市青葉区藤が丘1-39-4 ☎045-979-1816 <http://www.viveznature.jp/>

①自然循環型農業

自然が持っている物質を循環させる働きを生かし、環境を汚染せず自然基盤に根ざした栽培法。農薬・化学肥料・飼料添加物・遺伝子操作技術は避ける。

②CSA

Community Supported Agricultureの略。消費者は出所が分かっている安全な食糧供給を受ける代わりに、その農地・農家をしっかりと支援するシステム。

取材を終えて

農家に生まれ、大学で農学を専攻していた私にとって、興味深い話をうかがえました。どんなに良い野菜を作っても、売り方を知らなければその良さを消費者に知ってもらうことはできませんし、もちろん利益も上げられません。緒方さんのように、生産者と消費者の橋渡しをしてくれる方が増えていけば、これからの日本の農業がもっと明るくなっていくだろうと楽しみになりました☆



Reporter Profile
中川千紘
(なかがわ ちひろ)

FECO FLASH

7割以上の買い物客がレジ袋削減に協力！

マイバッグ持参から始める 草の根環境保全活動！

今号のエコニュース

ジャスコ東山二条店にて レジ袋有料化実験始まる

2007年1月11日、ジャスコ京都東山二条店（京都市）では、レジ袋有料化の実験が始まりました。これは、今まで無料だったレジ袋を有料（1枚5円）とすることで、買い物客の買い物袋持参を促し、家庭でのレジ袋廃棄量を削減しようというもの。同社の店舗としては全国で初めての取り組みで、地元のNPO団体や主婦グループが協力してバックアップ。買い物客の理解を得て効果を出せるかどうか注目目が集まっています。



何気なくもっているレジ袋をマイバッグに代えるだけでエコが進む！

300億枚。これ、いったい何の数字だと思いますか？ 実は、日本国内でのレジ袋の年間使用枚数。私たちは知らず知らずのうちに、1人で年間約300枚ものレジ袋を消費しているのです。では、レジ袋をこれだけ大量に消費するとどうなるでしょう。

まずは、原料となる石油資源の消費量が増加します。石油消費量の増加はそのまま地球温暖化や資源の枯渇などの深刻な問題に直結します。さらに、現在のレジ袋には土にかえられないものもあり、野生動物の生態への影響や、ゴミの増加も懸念されることになります。

今回京都でスタートしたレジ袋削減運動は、こうした問題を減らしていくための取組みの一つ。温室効果ガス排出削減を定めた京都議の舞台である町で活動がスタートしたこと

は、とても意義のあることです。レジ袋や容器包装の削減は、昨年6月に成立した「改正容器包装リサイクル法」で義務化され、今年4月からついに施行されました。大手家電企業やコンビニチェーンなどでも、削減への取組みがどんどん始まっています。腰の重たそうに見える大企業が率先して行動をおこせば、削減への理解は必ず広がっていくはず。ちなみにジャスコ京都東山二条店では、レジ袋有料化以降、実に7割以上の買い物客が自分でバッグを持参しているようで、取組みは予想以上の効果を上げています。レジ袋の収益金はリサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献に活かされるとのこと。あなたも、マイバッグからエコを始めてみませんか。

スタッフコメント



安東弘之（あんどうひろゆき）

マイバッグ運動は今後推進すべき！ この運動が私がオススメしたいのが「風呂敷」です。風呂敷はちょっと結ぶだけでバッグとして活用でき、結び方次第では巾着っぽくなったり、ショルダーバッグっぽくなったりとバリエーションも豊富。折りたたみばかきばらないですしね。最近では様々な模様入りのものもあるので、ECOとレトロなオシャレの両方を得られるかも！

中国発・面白現地情報コラム！

こちら中国支局です vol.1

★ FUKUNAGA CHINA BRANCH ★

ケータイ&インターネットのびっくり事情

中国の携帯電話加入者は、05年末時点でなんと3億9300万人！現在も5億人規模へと大増中。そんな中でとても特徴的なのが、携帯電話の使い方。中国ではメールよりも、おしゃべりが圧倒的に多いんです。しかも日本と違って地下鉄など公共施設でも利用制限がなく、ただでさえ声の大きな中国人のたが狭い車内で会話するものだから、車内には凄まじい騒音が…。いっぽう、列車や飛行機で新しい省や県に入ると、そのたびにメッセージが送信され、旅行ガイドや宿泊施設サイト

を知らせてくれるという便利なサービスもあったりします。

さて、次はインターネット。昨年末までの加入者は1億3700万人ですが、農林部とは大きな差があり、人口普及率ではまだ10%程度なんだそう。無線通信である携帯電話は中国の広い国土をカバーできる有効なインフラ。農村地域でも早く整備が進んで欲しいものです。ちなみにポータルサイトでは中国でもGoogleやYahoo!が人気ですが、なかには「馬虎」「百度」という名前前の中国独自のサイトも拡大中です。ではまた、次号で！



中国でも携帯電話はどんどん普及中。



Reporter Profile

鐘蓓青（しょうはいせい）

来日して12年。7年間勤務していたフクナガエンジニアリングのリサイクル技術を活用して、現在は日本・中国間の環境ビジネス（主にプラスチック）に従事している。

エコソフトバッグ開発談 VOL.03

エコソフトバッグの生立ちを赤裸々に振り返る！

研究所は「サウナ」!?

再生原料を使用した環境にやさしい弊社製品「エコソフトバッグ」。今回は、これまでに連載してきた開発の経緯をダイジェストでまとめてみました。

開発のきっかけはお客さまの一言。ある展示会でお客さまから「御社では環境に配慮した事業を行なっているそうだね。ソフトバッグにも再生原料などを使用しているの？」と聞かれたことで始まりました。当時は100%バージンのPPを使用したバッグしかなく、私たちもそれが当たり前だと思っていたんです。

そしてスタートした開発。大変だったのは材料となる樹脂の加工作業でした…。エコソフトバッグには、廃プラスチックを高温で溶かし、まるでそうめんのように細長くした樹脂を使うのですが、この作業を行なったのは何とクーラーの無い研究所

の中！ しかも原料を溶かす温度は200度以上！！ おまけに昨年の夏には猛暑の影響もあって室温が40度以上！！…そんな「サウナ」の中で研究した成果が今、エコソフトバッグとなって皆さまの元へ届けられています。皆さまに喜んでいただければ、チーム一同の感慨もひとしおです。



チームの汗がしみ込んでいます(?)



Reporter Profile

王暁光（おうぎょうこう）

入社2年目のフレッシュウーマン。出身地は中国・瀋陽（東北地方）。2000年の春に留学生として日本にやってくるまで7年になることから、永住権の取得を考え中。

お客さまに聞きました

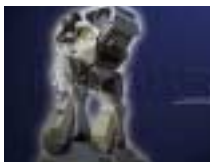
VOICE

vol.01

私たち、フクナガエンジニアリングがお取引させていただいている企業の事業内容をご紹介します。私たちの製品がお客様にどのように活用されているか、実感してください。

②1年ものテスト期間を経て 価格・機能に満足していただきました!

榊原機械は、環境保全機械やアミューズメント機械の開発・設計・製造を主な事業とされています。同社が開発した機械のなかでも「ランドウォーカー」は特に有名。コックピットに乗り込んで自分で操縦ができる、巨大2足歩行ロボットとして世間の話題をさらいました。素晴らしい開発力を持った同社とお取引がスタートしたのは約5年前。満足のいく産業タイヤをネットで探されていた



「タイヤを使用する機械には キクロスを採用していますよ」

— 榊原機械 株式会社 田中様より —

今月のお客様
榊原機械 株式会社
群馬県北群馬郡榛東村新井685-4
☎0279-54-2184
<http://www.sakakibara-kikai.co.jp>



新型機械「MO-618」(キクロスタイヤ 10.00-20 装着)

のがきっかけでした。同社からは「既設機械のタイヤ(6.00-9)をキクロスに交換し1年間様子を見たのですが、走行性能、磨耗性など、以前使っていた国産タイヤと比べ遜色がないうえ、価格も手頃。以来、タイヤを使用する機械には全てキクロスを使用していますよ」とのご意見が。商品の性能だけでなく、価格や対応においても納得いただけただけで、嬉しい限りです。

エコへの取り組みが盛んな同社では「戻し堆肥化処理」を使ったシステムを開発されています。堆肥化機械では、その過程で必要になる副資材の使用量を抑えて運営ができるそう。これにより、低コストで環境に低負担な運営が可能だそうです。今後も弊社製品をよろしく願います!

キクロス

フォークリフト用のタイヤで、バンクなど耐久性に優れています。スタンダード、カラー、エコソフトの3種があります。また、使い終わったタイヤの回収も行っています。

●キクロスタイヤについて
<http://www.kyklostire.com/>

PICK UP!



フクナガ社内のさまざまな話題をお届けする
INFORMATIONコーナー。今回は2007年に私たちの仲間入りを果たす、3名の新入社員をご紹介します。

今回のお題

『2007新入社員Q&A』

- Q1** これやっていると時間を忘れちゃいます!という趣味や特技!
- Q2** 自分以外の2人について一言!
- Q3** 入社にかける意気込み!

●石川枝里子(いしかわ・えりこ)

A1 ぞっかいバックパックを担いで旅行に行くこと。言葉の通じない国に行ってもとにかく地元の人に話かけます(笑)。時間を忘れて気ままにブラブラして、友達ができたりすると「幸せー!」って思います。**A2** 額田くん→頭脳派の尺八奏者! 山本くん→考えることがひとつひとつおもしろい!**A3** 早く会社のこと・仕事のことを覚えて、皆さんと一緒にバリバリ働きたいです。自分の事業部での仕事だけでなく、会社の為に何かできるような人になりたいです。



●山本功(やまもと・いさお)

A1 寝る。いくらでも眠れます。ダンスをしていたので、体を動かすのも得意。**A2** 額田くん→理論派。今後の日中間での活躍に期待! 石川さん→すでにみんなのまとめ役。本人は緊張すると言いつつ、人前に出たときのあの落ち着き、見習いたいものです。**A3** 4月からとにかく楽しく精一杯仕事します!



●額田拓(ぬかだ・たく)

A1 お風呂に浸かりながらの読書・サイクリング・ネットサーフィン**A2** 石川さん→しっかりモノのおかあさん。山本くん→宴会盛り上げ部長!**A3** これからの日々の仕事の中で、自分にしかできないことを見つけていきたいです。みなさんよろしくお願いたします!



あなたが感じる「エコな風景」
をパチリ!グランプリ目指して
商品ゲットしよう

今号のグランプリ

「環境への心遣い」

大阪市・幸田真一さん(34歳)

「家の近所にあるスーパーで見つけたマイバスケケットを送ります(〃)環境保護って難しく考えがちですが、こんなところからでも始められるんだよねあとと思いました◎目指せグランプリ!」

記念すべき第1回グランプリは、レジ袋の有料化でマイバッグとともに今後活躍が期待されるマイバスケケット!あと2~3年の間に、もっとカラフルで使いやすいものも出てきそうな予感もしますね。私も早速スーパーにチェックしに行ってきます♪(スタッフ・長谷川)



グランプリ受賞者には商品券1万円を贈呈!

あなたのエコ写真、待っています!

「エコ百景」では、あなたが「これはエコだ!」と感じた物や風景の写真を募集しています。グランプリを受賞された方には、全国百貨店共通商品券(1万円)をプレゼント!会社の備品購入などに活用して下さいね。宛先はコチラ!

[応募宛先] フェコニュース編集部「エコ百景」係

[応募概要] デジタルカメラで撮影した画像1点に、作品名(20字以内)・作品へのコメント(60字以内)・応募者氏名・住所・年齢・電話番号・メールアドレスを添えて、宛先アドレスまで送信して下さい。

[応募メールアドレス] info@ecosoft.co.jp

[締切] 2007年4月27日(金) 必着



発行元:株式会社フクナガエンジニアリング
〒536-0014 大阪府大阪市城東区鳴野西5-13-30
TEL.06-6969-3647(代) FAX.06-6969-3611
E-mail info@ecosoft.co.jp

<http://www.ecosoft.co.jp>



※ISO14001取得範囲は本社のみです。



EMS Accreditation

編集後記

リニューアル第1号はいかがでしたでしょうか?みなさんがどう感じているのか、とても気になってそわそわしている事務局です。特集では、実は大阪オフィスと関東オフィスをTV会議システムで結んで取材しました!特集の写真で株式会社スロウの緒方さんが上を向いているのは、TVカメラを向いて話しているからなんです。これからのエコビジネスも、テレビ会議のように距離を越えてどんどん身近になってほしいなと思います。(長谷川)



再生100%用紙および、インクには大豆油を使用。